

おうせがわ 逢瀬川河川改修 進捗状況

令和8年9月末現在 事業進捗率 99%



“咲田橋は令和8年12月に開通を予定しています”

① 逢瀬橋から大窪橋までの区間

【令和8年2月撮影】



① 逢瀬橋から大窪橋間の築堤護岸及び堤防道路が令和4年度に完成しました。

② 大窪橋から咲田橋までの区間

【令和8年4月撮影】



② 大窪橋から咲田橋間の築堤護岸及び堤防道路が令和4年度に完成しました。(咲田橋施工範囲を除く)
現在、新しい咲田橋の橋桁を架設し、令和8年12月開通に向けて工事を進めています。

③ 咲田橋から東部幹線(市施行)までの区間

【令和8年2月撮影】



③ 咲田橋から東部幹線間の築堤護岸及び堤防道路が完了しました。

④ 東部幹線から幕ノ内橋までの区間

【令和8年2月撮影】



④ 東部幹線から幕ノ内橋上流部間の築堤護岸が完了しました。令和5年度には幕ノ内橋が完成しました。

一級河川 逢瀬川 郡山市若葉町地内

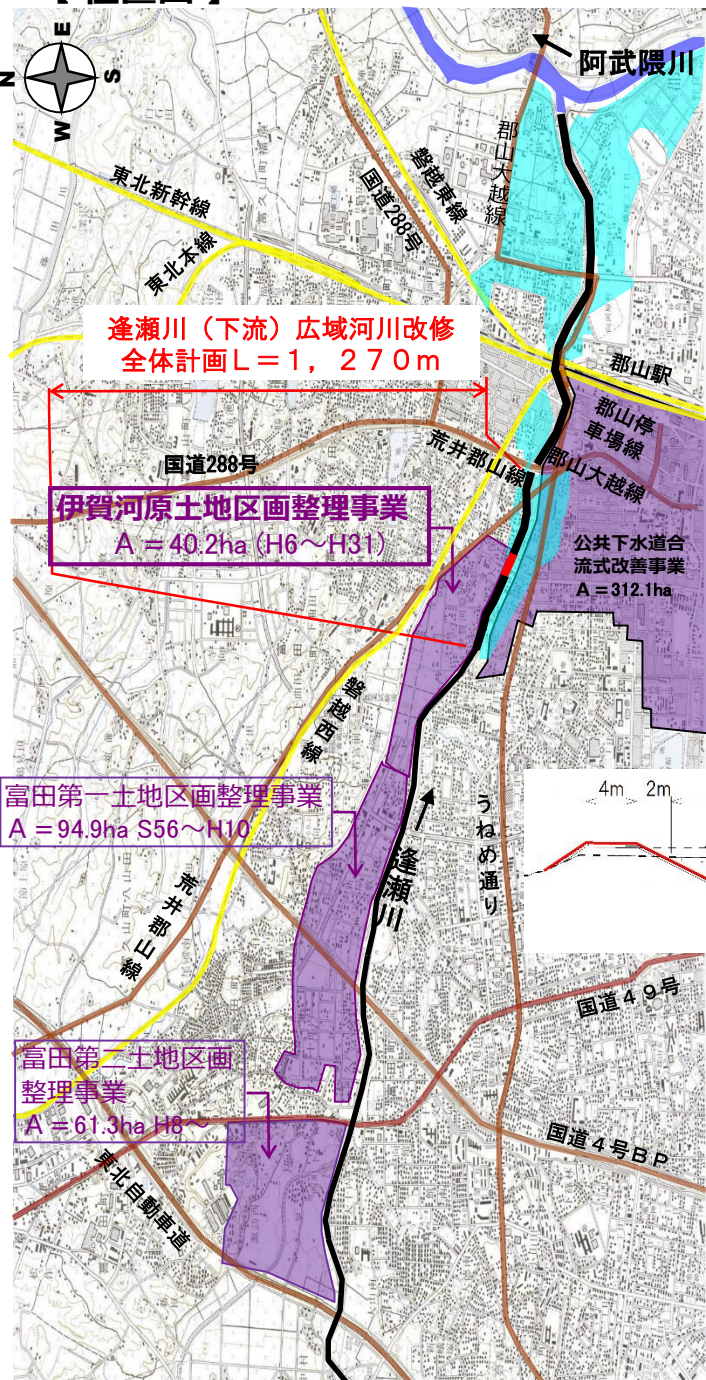
逢瀬川は、奥羽山脈の豊かな森林地帯を源流とし、本県の経済・文化の中心都市である郡山市の市街地を貫流して阿武隈川へ流下する、流域面積56.6km²の一級河川です。

市街地の浸水被害を解消し人々の安全で安心な生活を守ること、市街地の活性化を支援することを目的に、景観に配慮したまちづくりと一体となった河川整備を進めています。

事業の必要性と効果

河川断面が狭小であったため、昭和61年8月の台風、平成10年8月や平成23年9月の集中豪雨などに伴い沿江市街地の浸水被害が発生しました。また、令和元年東日本台風時には阿武隈川本川の異常な水位上昇に伴う浸水被害も発生しています。河川の断面積を広げるとともに堤防の高さを上げることで、浸水被害の発生を軽減します。

【位置図】



事業概要

全体計画延長：L=1,270m

事業着手：昭和63年度

事業完了：令和8年度（予定）

事業概要：築堤護岸工 L=1,270m

橋梁工 N=3橋

大窪橋（完成）

咲田橋（施工中）

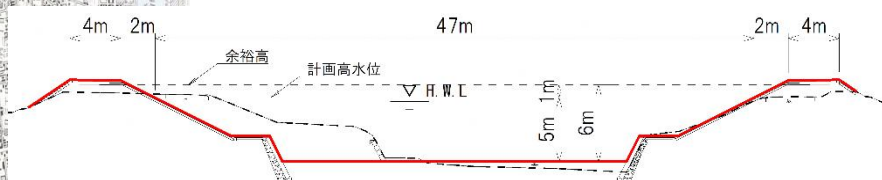
幕ノ内橋（完成）

樋門工 N=5箇所（完成）

令和8年度の事業内容

- ・咲田橋新橋上部工（橋桁）
- ・取付道路工
- ・仮歩道橋撤去
- ・護岸工
- ・物件補償（咲田橋関連）

【河川：標準横断図】



【令和元年10月出水状況】



う し な つ い が わ 右支夏井川河川改修進捗状況

令和8年9月末現在 **上流工区事業進捗率 70%**

現況河川幅8.0m 計画河川幅36.5m

令和8年3月に黒森川の堤防かさ上げや護岸の整備が完了しました。
現在は、**右支夏井川の堤防をかさ上げや荒町橋の取り付け道路を整備**しています。

黒森川 工事進捗状況



右支夏井川 工事進捗状況



田村郡小野町大字小野新町 地内

右支夏井川は、小野町の中心市街地を貫流し夏井川に合流する河川です。市街地の浸水被害を解消し、人々の安全で安心な生活を守ることを目的に、まちづくりと一体となった河川整備を進めています。

事業の必要性和効果

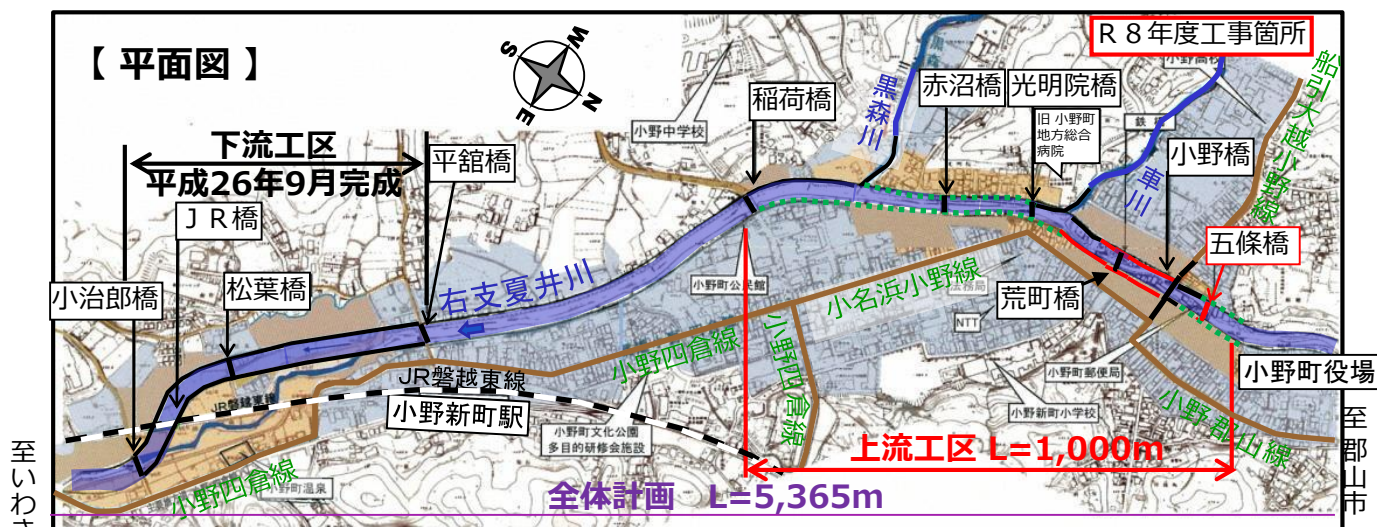
右支夏井川は、中心市街地である小野新町地内において河川の断面積が狭小であるため、昭和61年8月の台風や令和元年の東日本台風で浸水被害が発生しています。本事業により河川の断面積を広げ浸水被害を軽減し、また、まちづくりと一体となった整備により、市街地の活性化に寄与します。

事業概要

広域河川改修全体計画 L=5,365m
 ○下流工区(小治郎橋～平舘橋) L=1,000m
 ・H8年度 事業着手
 ・H26年度 完成
 ○上流工区(稲荷橋～役場裏) L=1,000m
 堤防のかさ上げや護岸整備 L=1,000m
 橋梁架け替え N=4橋
 町道付け替え N=1式
 ・H26年度 事業着手

令和8年度の事業内容

- 右支夏井川
 - ・調査、設計、用地補償
(小野橋～車川合流点)
 - ・堤防のかさ上げ、護岸や樋管の整備
(小野橋～小野町役場)
 - ・付け替える町道の整備
(五條橋)
 - ・旧橋の撤去、新橋の下部工整備



【出水状況：小野町大字谷津作地内】



【出水状況：旧荒町橋】



い ま で が わ

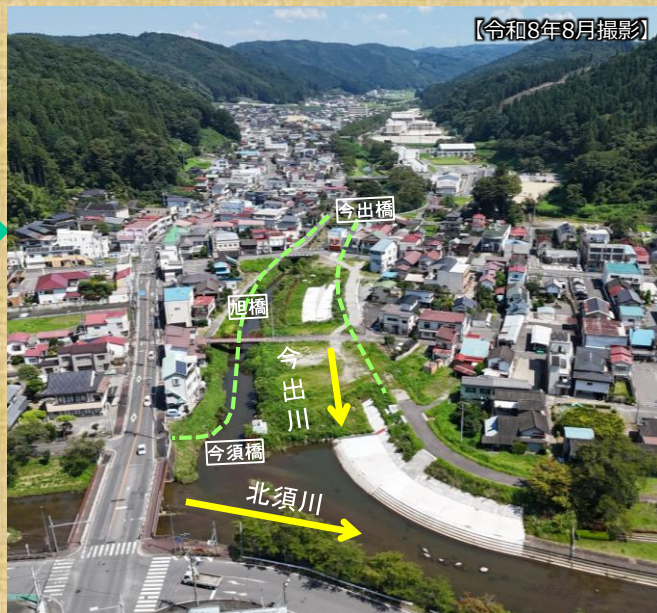
今出川河川改修進捗状況

令和8年9月末現在 **事業進捗率 26%**

現況河川幅 約15m 計画河川幅 約30m

令和8年3月までに**北須川合流部の堤防と護岸の整備が完了**しました。
現在は、1工区（今出橋より下流側）の**護岸工事や管理用道路の整備**を行っています。

今出川 工事進捗状況（下流より全体を望む）



今出川 工事進捗状況【1工区】（上流側より）



一級河川 今出川

石川郡石川町新町 地内

今出川は、石川町の中心市街地を貫流し、北須川に合流する河川です。
市街地の浸水被害を解消し、人々の安全で安心な生活を守ることを目的に、河川整備を進めています。

事業の必要性と効果

石川町を流れる今出川は、昭和41年9月の豪雨や令和元年東日本台風をはじめ、度重なる洪水により浸水被害が発生しています。そのため、北須川の合流点から上流 0.3 km 区間において川を広げ、堤防を築く工事を行い、沿川の人家等の浸水被害を軽減します。

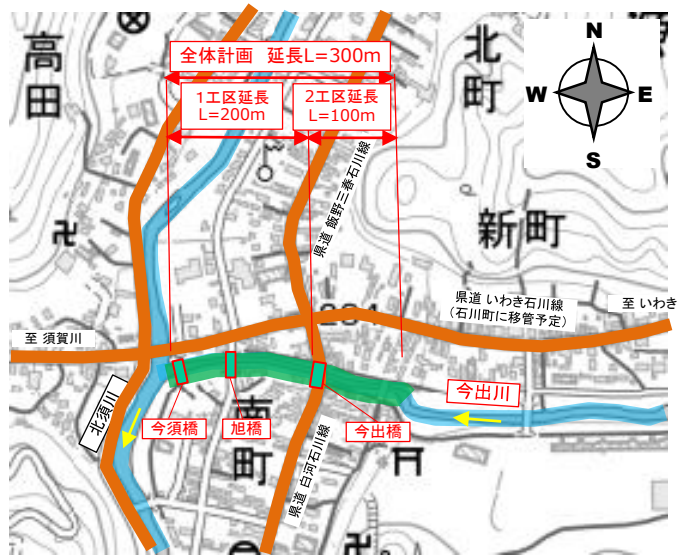
事業概要

全体計画延長：L = 300 m

事業概要：築堤盛土、河道拡幅掘削、
護岸、橋梁架替（今須橋、
旭橋、今出橋）等

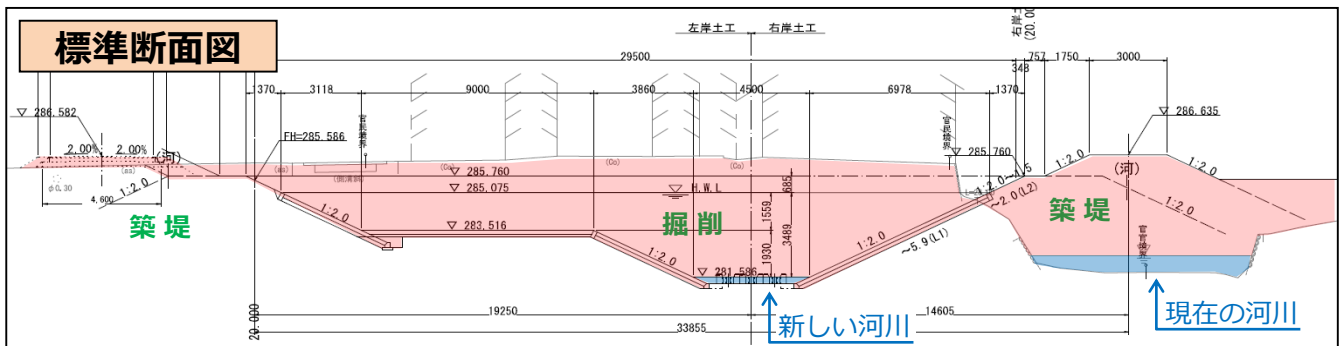
事業着手：H28

平面図



令和8年度の事業内容

- 1 工区
 - ・設計、用地補償
 - ・左岸堤防の護岸工事、管理道路の整備等
- 2 工区
 - ・設計、用地補償



【出水状況：昭和41年台風28号】



【出水状況：令和元年東日本台風】



国道349号

ならさか

檜坂工区 進捗状況

事業着手
平成23年度

令和8年9月末現在
事業進捗率 91%



【一部開通状況（古殿町）】



【R8施工状況】



○令和5年3月1日に古殿町内の1.3km区間が開通しています。
○切土区間の掘削が完了し、現在道路改良工事、法面工事に着手しています。

国道349号（檜坂工区）

石川郡古殿町山上字才木草地内～石川郡平田村大字北方字檜坂地内

国道349号は、茨城県水戸市を起点とし本県の中通りを縦貫して宮城県に至る重要な幹線道路です。

災害等により浜通り軸（浜通りを縦貫する基幹的な道路）が通行不能となった場合の代替機能を確保することを目的に、檜坂工区は、古殿町と平田村の町村境の峠部の延長L=2,150mを整備しています。

事業の必要性と効果

檜坂工区は、道路の幅員が狭く、急勾配や急カーブが連続し、通行の難所となっています。本事業により、幅員狭小と線形不良ならびに冬期間に路面が凍結する日陰区間を解消し、安全で円滑な交通を確保します。

事業概要

延長L=2,150m 幅員W=6.0(8.0)m

- ・ H23年度 事業着手
- ・ H28年度 工事着手
- ・ R5年3月 古殿町内のL=1.3km供用

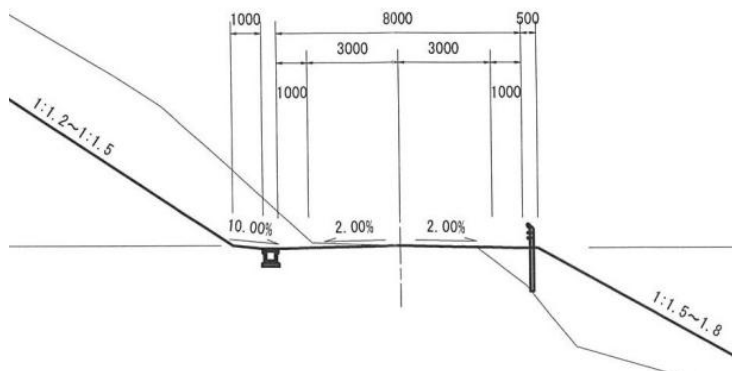
【位置図】



令和8年度の事業内容

- ・ 道路改良工
- ・ 法面工

【標準横断図】



【現道状況（峠部）】



【現道状況】



いわき石川線

ちょう こう ち

長光地工区進捗状況

事業着手前
平成23年度

令和8年9月末現在
事業進捗率 46%



現在は用地補償のお願いをしています。

いわき石川線（長光地工区）

石川郡古殿町大字鎌田地内

いわき石川線は、浜通りと中通りをつなぐ地域連携道路であり、また、南東北の物流拠点である重要港湾小名浜港から中通りをはじめとする県内各産業集積地への物流を支える道路です。

長光地工区は、急カーブや道路の幅員が狭い箇所について、交通の安全性を高めるための道路を整備しています。

事業の必要性和効果

本事業により、急カーブや幅員狭小区間の解消を行い、安全で円滑な交通を確保します。

定時性の向上・所要時間の短縮により、地域間の連携強化、物流の効率化が図られます。

事業概要

○長光地工区 H24年度事業着手
延長L=1,620m 幅員W=6.5(11.0)m

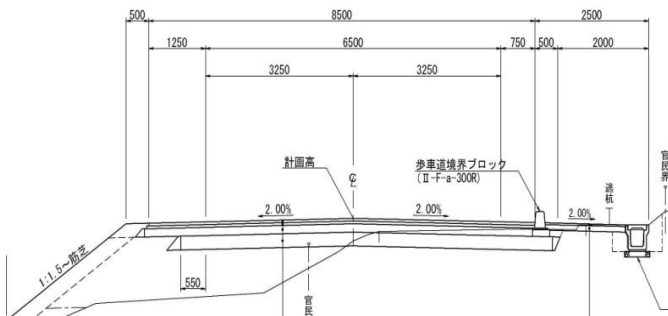
【位置図】



令和8年度の事業内容

- 長光地工区
 - ・用地調査
 - ・関係機関調整

【標準横断図】



【現道施工前状況】



【施工済状況】



国道294号

さわやしき

沢邸工区 進捗状況

事業着手
平成30年

令和8年9月末現在
事業進捗率36%

【施工状況】



【工事完了箇所】



【工事完了箇所】



今年度は、未施工区間(L=300m)の改良舗装工事を進めております。

国道294号（沢邸工区）

岩瀬郡天栄村大里地内

一般国道294号は、千葉県柏市を起点とし、福島県会津若松市に至る全長約240kmの幹線道路であり、中通り地方と会津地方を結ぶ重要な路線です。

沢邸工区は、通学路となっているものの、幅員狭小及び線形不良、歩道の未整備により、円滑で安全な交通に支障をきたしていることから、安全性・信頼性を確保するために早期に道路を整備する必要があるため、延長L=1.6kmを整備しています。

事業の必要性と効果

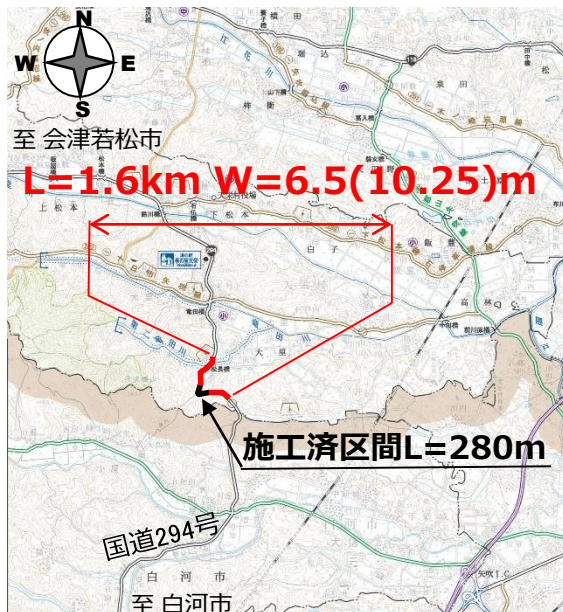
本事業により、車道の拡幅と歩道の整備を行い、歩行者や車両の安全で円滑な交通を確保します。

事業概要

延長L=1.6km 幅員W=6.5(10.25)m

- ・ H30年度 事業着手
- ・ R元年度 用地補償着手
- ・ R3年度 工事着手

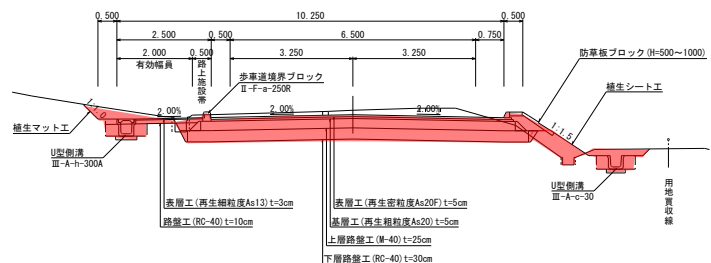
【位置図】



令和8年度の事業内容

- ・ 改良舗装工事

【標準横断図】



【現道施工前状況】



【現道施工前状況】



内環状線

にしはら

西原工区進捗状況

事業着手
令和3年度

令和8年9月末現在
事業進捗率5%



【 工事前：起点側(北側から南側を望む) 】



【 工事前：終点側(南側から北側を望む) 】



現在は用地補償のお願いをしています。

内環状線（西原工区）

郡山市富久山町福原地内

内環状線は、国道4号との交差点を起点とし、昭和2丁目の東部幹線との交差点を環状に結ぶ、全体延長14.5km、代表幅員25m、4車線の都市計画道路です。

これまで郡山市が内環状線の整備を進めておりましたが、国道288号バイパスから、現道の国道288号までの約900mの区間を県が施工します。

事業の必要性と効果

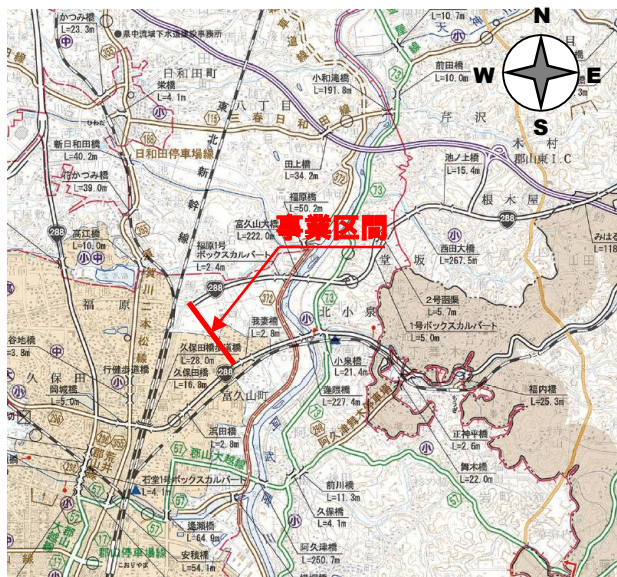
本事業により、環状ネットワークの形成による市街地の慢性的な渋滞緩和、救急や物流の円滑な通行確保等が図られます。

事業概要

延長L=約900m 幅員W=27.0m

- ・令和3年度 事業着手
- ・令和4年度 測量設計、都市計画変更、住民説明会
- ・令和5年度 用地交渉開始
- ・令和8年度 住民説明会

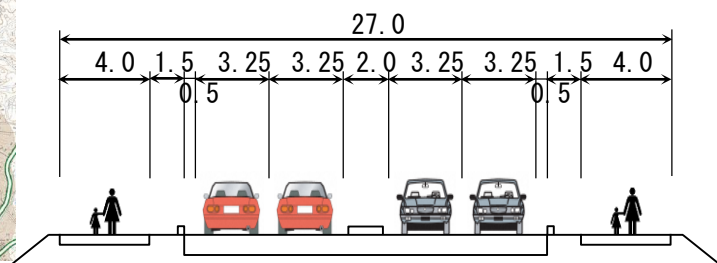
【位置図】



令和8年度の事業内容

- ・用地補償
- ・用地調査

【標準横断図】



【工事前：中央付近（北側から南側を望む）】



市道福原八山田館前線

【工事前：終点付近（南側から北側を望む）】



至 国道288号

国道288号

富久山バイパス進捗状況

事業着手
平成11年度

令和8年9月末現在
事業進捗率88%

【 富久山大橋 】



【 起点側混雑状況 】



【 交差点混雑状況 】



現在は用地補償のお願いをしています。

国道288号（富久山バイパス）

郡山市富久山町福原地内

一般国道288号は、福島県郡山市を起点とし、同県双葉郡双葉町に至る延長約75kmの幹線道路であり、福島県の復興計画（第3次）において、「復興まちづくり・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト」の「地域連携道路」に位置づけられている重要な路線です。残事業区間は2車線で整備されているものの、通勤や物流車両により日常的に混雑していることから、渋滞解消を図るものです。

事業の必要性と効果

本事業により、市街地の慢性的な渋滞緩和、救急や物流の円滑な通行確保等が図られます。

事業概要

延長L=1,700m 幅員W=14.0(25.25)m
・H11年度事業着手
・H21富久山橋2車線暫定供用
・R4富久山大橋4車線供用L=700m

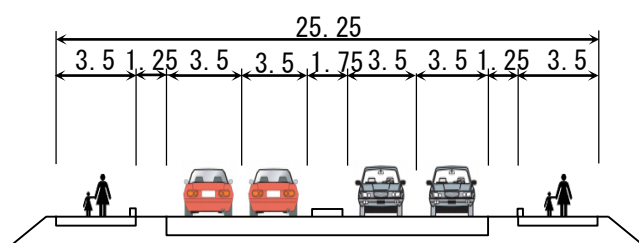
【位置図】



令和8年度の事業内容

- ・用地補償
- ・関係機関調整

【標準横断面図】



【交差点混雑状況】



【用地取得状況】



国道294号

ふくろ 福良バypass進捗状況

事業着手
平成21年

令和8年9月末現在
事業進捗率 92%

【施工状況】



【工事完了箇所】



今年度は、福良工区未供用区間(L=110m)の改良工事を進めて
おります。

国道294号（福良バイパス）

郡山市湖南町福良～赤津地内

一般国道294号は、千葉県柏市を起点とし、福島県会津若松市に至る全長約240kmの幹線道路であり、中通り地方と会津地方を結ぶ重要な路線です。

現道は幅員狭小、線形不良の箇所が続き、交通の隘路となっているため、バイパス整備により観光支援と物流の活性化を期待されており、延長4.7kmの区間を整備しています。

事業の必要性と効果

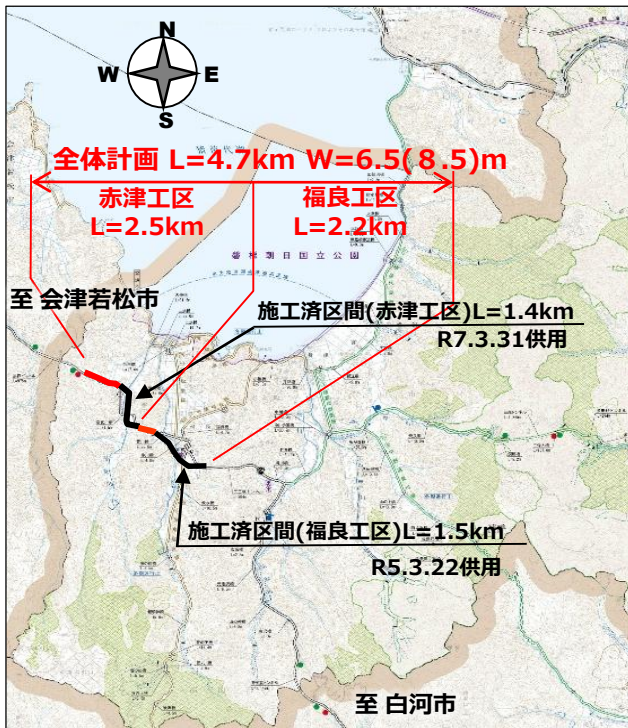
本事業により、線形不良、幅員狭小区間の解消による安全性、交通利便性の向上を図るとともに、観光道路として地域振興に寄与することが望めます。

事業概要

延長L=4.7km 幅員W=6.5(8.5)m

- ・H21年度 事業着手
- ・H23年度 用地補償着手
- ・H25年度 工事着手

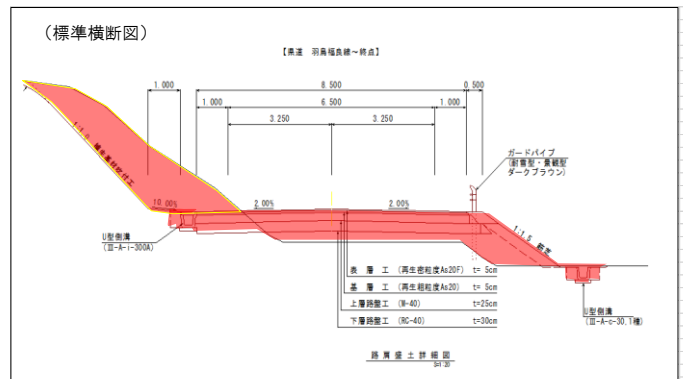
【位置図】



令和8年度の事業内容

- ・改良工事

【標準横断図】



【現道施工前状況】

